学校番号	T3003

平成３１年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育（４年制）	単位数	1	年次	2
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館書店　出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

集団スポーツにおいては、協力・責任を目標に掲げ、生徒全員が安全に楽しく参加できるようにする。個人種目に関しては、運動の特性に応じた運動機能を高め、楽しさを重視し、ライフスポーツ・レジャースポーツに発展することを目標とする。

2 学習の到達目標

・各種の運動を通して、体を動かす楽しさを体感させ、積極的な授業参加を目標とする。
・手軽で身近な生涯に渉る運動・スポーツとなるよう関心・知識・理解を高める。
・体を動かすことが、身体能力を身に着けるとともに、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動などを通じて論理的思考力をはぐくむ。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	体つくり運動	オリエンテーション 体ほぐしの運動	○	○		○	a:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察
	球技	テニス	○	○	○	○	a：勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに自主的に取り組もうとしている。 b：チームや自己の課題に応じた運動の取り組みを工夫している。 c：仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てることを身に着けている。 d：それぞれの技術には、技能の向上につながる重要なポイントがあること、またゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントとなること、それらを高めるための安全で合理的な練習の仕方があることを理解している	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
		バスケットボール	○	○	○	○	a：勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに自主的に取り組もうとしている。 b：運動の行い方、仲間と教え合うなどの活動の仕方、健康・安全の確保の仕方、運動の継続の方法などのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて、運動を継続するために、知識を新たな学習場面で適応したり、応用したりすることを示している。 c：仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、ゴール前の空間を作り出したりして攻防を展開することを身に着けている。 d：ゲームのルール、トーナメントやリーグ戦などの試合方法、運営の仕方に応じた行動の仕方などを理解できるようにする。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

後期		バドミントン	○	○	○	○	a：勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに自主的に取り組もうとしている。 b：運動の行い方、仲間と教え合うなどの活動の仕方、健康・安全の確保の仕方、運動の継続の方法などのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて、運動を継続するために、知識を新たな学習場面で適応したり、応用したりすることを示している。 c：仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てることを身に着けている。 d：ゲームのルール、トーナメントやリーグ戦などの試合方法、運営の仕方に応じた行動の仕方などを理解できるようにする。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
	球技	サッカー	○	○	○	○	a：勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに自主的に取り組もうとしている。 b：チームや自己の課題に応じた運動の取り組みを工夫している。 c:安定したボール操作と空間を作りだすなどの連携した動きによってゴール前の侵入などから攻防を展開することを身に着けている。 d:サッカーに必要な体力を技能に関連させながら高めることが重要であることを理解できるようにする。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

後期	球技	卓球	○	○	○		a: 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに自主的に取り組もうとしている。 b：運動の行い方、仲間と教え合うなどの活動の仕方、健康・安全の確保の仕方、運動の継続の方法などのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて、運動を継続するために、知識を新たな学習場面で適応したり、応用したりすることを示している。 c:味方や相手の状況に応じてボールに緩急や高低、回転などの変化をつけて前後左右のねらった場所に打ち分けたり、リズムを変えたり、仲間と連携して攻防を展開することを身につけている。 d：ゲームのルール、トーナメントやリーグ戦などの試合方法、運営の仕方に応じた行動の仕方などを理解できるようにする。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。